

6 水道分野の国際貢献について

水道の国際展開への取組（水ビジネスの推進）

新成長戦略（平成22年6月18日閣議決定）（抜粋）

「アジア経済戦略」 環境技術において日本が強みを持つインフラ整備をパッケージでアジア地域に展開・浸透させるとともに、アジア諸国の経済成長に伴う地球環境への負荷を軽減し、日本の技術・経験をアジアの持続可能な成長のエンジンとして活用する。具体的には、新幹線・都市交通、水、エネルギーなどのインフラ整備支援や、環境共生型都市の開発支援に官民あげて取り組む。

⇒パッケージ型インフラ海外展開関係大臣会合…原子力、鉄道とともに、水が重点分野として取り上げられる。

厚生労働省の取組

政府レベル

日本企業の海外市場への売り込み ～20年度から実施。対象国は中国、ベトナム、カンボジア

- 相手国政府と共同で、相手国の水道事業者を対象に水道セミナーを開催し、日本の水道技術や企業をPR
- 現地ニーズに対応した日本型水道システムのモデル作り（省エネ型の送配水管理や漏水対策など）

国内体制

- 国内でも、官民連携を進めるため、水道事業の民間委託を促進～「官民連携協推進協議会」の開催 等（平成22年度：仙台市、さいたま市、名古屋市 平成23年度：広島市、福岡市、さいたま市）

自治体や企業が自律的にビジネス展開するための枠組みづくりを進める（23年度の取組）

個々の事業体・プロジェクトレベル

海外展開拠点ネットワークの整備

業界・関係団体レベル

アジアの水道協会

◆日本の企業・水道事業者とアジア各国の水道協会・水道研修施設のネットワーク化

水道事業者

アジアの研修機関

◆企業等が海外市場展開するための拠点として、市場調査、技術紹介、研修に活用

水道関連企業

官民連携型の案件発掘調査

民間企業
施設の設計・建設
高度な水処理技術

地方自治体
水道事業運営
ノウハウ

